

第3回 浜田市議会災害等対策支援本部会議記録

令和6年9月20日（金）

9時30分～9時35分

第4委員会室

【本部長】笹田議長

【副本部長】川神副議長

【本部員】三浦議員、岡本議員、肥後議員、佐々木議員

【事務局】下間局長、松井次長、大下庶務係長

【議題】

- 1 浜田市議会BCPの見直し（一部改正）について
 - ・浜田市議会BCP（業務継続計画）第3版の策定

2 その他

【別紙会議録のとおり】

【議事の経過】

[9時30分 開議]

○笹田議長

第3回浜田市議会災害等対策支援本部会議を開会する。

本日は浜田市議会BCPの見直し（一部改正）について協議し、第3版の策定を決定したい。

1 浜田市議会BCPの見直し（一部改正）について

・浜田市議会BCP（業務継続計画） 第3版の策定

○笹田議長

事務局から説明をお願いします。

○下間局長

議会BCPは令和4年12月に策定し、現在の議会BPCは令和5年3月に第2版として改正したものが最新である。議会BCPの見直しについては、「手順や内容に変更が生じた場合などにおいては、議会BCPに適切に反映させる必要があることから、必要の都度、適宜継続的に見直しを行うものとする。また、議会BCPの見直しは、議会支援本部において行うものとする」と定めている。このため、本日は改正案について、ご意見があればいただき、ご了解をいただくため、集まっていたいた。

今回は、14その他の「(1)審議等を継続するための環境整備」の項目に追記した。

新旧対照表をご覧ください。「審議等を継続するための環境整備」の項目について、左側が現在、右側の朱書き部分が改正後の案である。

②オンライン会議開催のための機材整備については、昨年度、記載のと通りのオンライン用の各種備品を購入することができたため追記した。これにより、いつでも迅速にオンライン会議を開催することができる。

③議場等の設備トラブルへの備えについては、主に議会事務局としての危機管理対策になろうかと思う。「停電や災害等を原因とする機械の故障や不具合により、議場、委員会室等の音響・映像設備が使用できなくなる事態に備え、映像機器、音響機器、録音機器を常備することとする。また、停電や災害等の発生が予測される場合には、これらの機材をあらかじめ議場等に設置しておくことにより、審議等の継続性を担保することとする。」と追記した。これは先ほどの備品のことで、すでに購入したものであり、常備しているという内容のものである。そして、「また、以降の部分」は、昨今大雨や雷等により、停電等が起こる可能性も多く、そういったことが予測される場合は、事前に事務局が会議開催の場所に各種機器を準備しておき、審議等の継続性を担保するということを明記したものである。「なお、以下の部分」は、現状として、市庁舎は、停電の発生時に非常灯が点灯する仕組みになっており、室外への避難や、審議等の継続に足りる程度の明るさは確保されていることを今回、補足的に明記したものである。

⑤の備品については、令和5年5月に防災ベストを全議員へ配布しているので、その旨追記したものである。

以上、改正案を作成した。本日この会議でご了解いただければ、この内容のとおり改正し、第3版として最新のものにしたいと考えている。

○笹田議長

この案について、意見や質問はあるか。

(「なし」という声あり)

○笹田議長

それでは、このとおり改正する。

9月30日の全員協議会で今回の見直しについて報告する。本件については各会派での周知をお願いします。無会派については事務局から報告をお願いします。

2 その他

○笹田議長

そのほかに皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、最後に、地震や大雨等の際の、議員の安否確認LINEについて、有事の際は安否確認LINEや支援本部会議招集のLINEを送信することもある。議員の皆さんはしっかり意識付けと回答をお願いします。

以上で第3回浜田市議会災害等対策支援本部会議を終了する。

[9 時35 分 閉議]